

2014年3月6日

各位

小野薬品工業株式会社

**東北大学および東京大学と新たな枠組みの
研究ネットワーク「オリエンタム・イノベーション」を構築**

小野薬品工業株式会社（本社：大阪市中央区、社長：相良 暁、以下「当社」）は、国立大学法人東北大学（本部：仙台市青葉区、総長：里見 進、以下「東北大学」）および国立大学法人東京大学（本部：東京都文京区、総長：濱田 純一、以下「東京大学」）とともに、産学連携による創薬オープン・イノベーションを追求する「オリエンタム・イノベーション」と称する研究ネットワークを構築しましたのでお知らせいたします。

当社は、独創的かつ画期的な新薬の創薬に取り組んでいますが、この取り組みをさらに加速させるために、当社が見出した独自性の高い新規化合物を最先端の知見や技術を有する大学・研究機関に提供することにより、医薬品としての用途の探索を今まで以上に迅速に実施する新しい形の産学連携のネットワークを「オリエンタム・イノベーション（以下、オリエンタム）」と名付け、その構築に向けて検討を進めてきました。

このようなコンセプトのもとに構築した今回のオリエンタムでは、新規生理活性脂質に関する豊富な最新知見を数多く有する東北大学が、研究ネットワークを統括するとともに、各種疾患の病態を模したモデルの構築などを行います。また東京大学は卓越した最先端技術を駆使して、臨床サンプルの解析や結晶構造解析などを行います。これらの取り組みを通じて、東北大学および東京大学が協力して各種疾患や病態における生理活性脂質の関与を解明するとともに、当社は、共同研究で得られた情報を活用して未充足の医療ニーズを満たす革新的な医薬品の創製を目指すことで、産学が連携してそれぞれの社会的使命を追求していきます。

なお、当社は、今回のオリエンタムから見出された化合物を全世界で独占的に開発・販売する権利を有し、売上の一部をロイヤリティとして東北大学および東京大学に支払います。

また、当社は、今後も同様の取り組みを国内外で進めていきたいと考えています。

【生理活性脂質とは】

プロスタグランジンやロイコトリエン、血小板活性化因子（PAF）、リゾホスファチジン酸、スフィンゴシン-1-リン酸、ステロイドなど生物活性を持つ脂質で、生体防御、血圧調節、痛みや発熱、消化管活動、細胞増殖、分裂と分化制御など幅広い生理機能を持っており、このバランスの破綻が多くの疾患と関連しています。これまでの研究から数々の新薬が創製されましたが、近年の研究の進展により、さらに新たな脂質が生体内において重要な役割を果たしていることが明らかとなってきており、中枢・免疫・代謝などさまざまな疾患領域においてその創薬研究が世界中で活発化しています。

以上

<本件に関する問い合わせ先>

小野薬品工業株式会社 広報室

TEL : 06-6263-5670

FAX : 06-6263-2950